

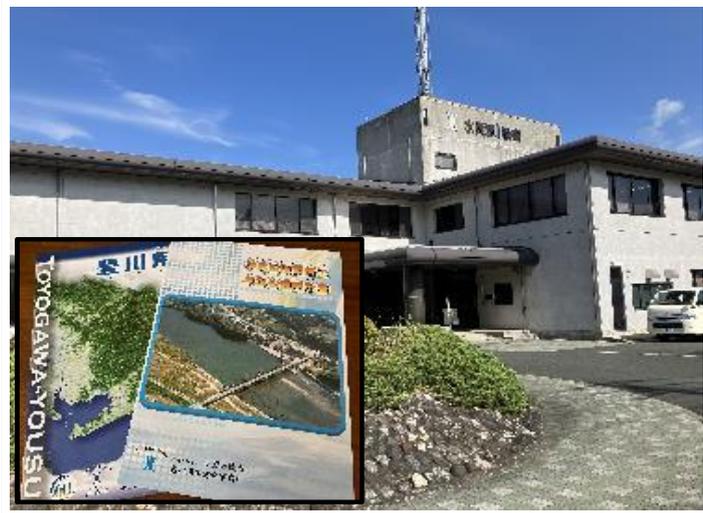
9月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川:左右岸 6.2km~27.6km 管轄出張所:豊川流域治水出張所
実施日	令和5年9月28日	実施区間	牟呂松原頭首工

新城市一鍛田の豊川に城壁のような牟呂松原頭首工という建物があります。長年、新城市で生活するなかで建物の役割を知らずに過ごしていましたが、この機会に調べてみました。

そもそも頭首工とは、川を堰き止めて、川の水を水路に取り入れる役割があるそうです。

新城市では宇連川を堰き止める大野頭首工と豊川を堰き止める牟呂松原頭首工があり、頭首工で取り入れた水は、水路で運ばれて、農業や水道、工業用水に使われているそうです。そこで、どうやってこの頭首工が各水路へ水を流すかを松原頭首工横にある水資源機構の職員さんに聞いてきました。難しいことはわかりませんが、右写真の赤丸のところで、川の水を堰き止め水の高さを調整でき、ある程度の高さから水を流すことで各水路へ流すことができるそうです。赤丸上の建物は水の堰き止めを調整するための建物とのこと。この頭首工がないと水の高さが足りず各水路へ流すことができず、豊川から離れた地域に水を送ることができなくなってしまうため、地域にとって、とても重要な施設であることを勉強しました。

皆さん、是非、牟呂松原頭首工を見た際は、施設の役割を思い出して下さい。子供達の社会科見学にも利用できる施設だと思います。



追加報告ですが、牟呂松原頭首工横の水資源機構の建物で『水の恵みカード』が配布されています。牟呂松原頭首工により各水路へ送られて水が農業に利用され、カードに載っている野菜や果物が育っているそうです。

宇連川を堰き止める大野頭首工では『ダムカード』が配布されていますが、牟呂松原頭首工では『水の恵みカード』です。ダムカードは有名で集めている方もいると思いますが、水の恵みカードは河川管理施設で配布される知る人ぞ知るレアなカードです。

皆さん、是非もらいに行きましょう。